



# 平成28年度 一般会計・各特別会計予算を審議・可決 一般会計予算は、165億9,000万円になりました

平成28年  
第1回定例会

平成28年第1回定例会を、2月16日から3月11日まで25日間の会期で開催しました。平成28年度一般会計予算、各特別・企業会計予算17件、平成27年度補正予算5件、条例関係21件、人事案件9件、その他9件が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり可決しました。

また、議会発議の「伊豆市議会基本条例」、「伊豆市議会議政務活動費の交付に関する条例」及び意見書1件を可決し、請願書2件を一部採択と採択しました。



▲市長行政報告

## 平成28年度一般会計・特別会計・企業会計予算総括表

※1万円未満は切り捨て

会計名	28年度当初予算	27年度当初予算	比較	
一般会計	165億9,000万円	158億8,900万円	7億100万円	
特別会計・企業会計	公共用地取得事業特別会計	2,881万円	152万円	2,729万円
	国民健康保険特別会計	53億100万円	53億3,280万円	▲3,180万円
	後期高齢者医療特別会計	3億8,330万円	3億6,228万円	2,101万円
	介護保険特別会計	32億円	32億円	0円
	簡易水道事業特別会計	1億4,130万円	1億2,618万円	1,512万円
	下水道事業特別会計	13億5,800万円	13億733万円	5,067万円
	農業集落排水事業特別会計	1億6,500万円	1億5,511万円	989万円
	水道事業会計	6億7,417万円	6億7,881万円	▲463万円
	温泉事業特別会計	7,473万円	6,042万円	1,431万円
	財産区特別会計(7財産区)	499万円	557万円	▲58万円

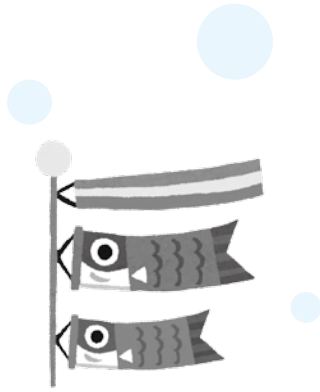
## 平成28年度 予算

### ◆一般会計予算

平成28年度の一般会計予算は、10年後の目指すべき将来像と進むべき方向についての基本指針である「第2次伊豆市総合計画」によるまちづくりを実現するため、選択と集中を念頭に必要な施策を予算に計上したことから、前年度より7億100万円増の165億9千万円となりました。主な事業として、コンパクトタウン&ネットワーク構想の一環として土地取得や造成設計に係る委託料、新中学校新築に係る実施設計委託料が計上されています。

また、2020年東京オリンピックに関連して、ソフトボールの事前合宿誘致を目指して天城ふるさと広場野球場改修工事、自転車競技が伊豆市で開催されることに伴い市民等への啓発経費、市道改良予備測量費を計上し、4年後に向けて準備を進めていきます。

このほか、土肥・八木沢局光ファイバ網整備事業補助金、土肥小中一貫校整備事業、伊豆半島ジオパーク中央拠点整備として修善寺



総合会館駐車場整備工事、中伊豆地区に開設する認定こども園整備事業補助金などが計上されています。

## 人事

### ◆伊豆市・伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任

任期満了に伴い木戸英寿氏（伊豆の国市守木）を再任することに同意。

任期は、平成28年4月1日から4年間。

### ◆人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、小林眞弓氏（牧之郷）を推薦することに同意。

任期は、平成28年7月1日から4年間。小林氏は新任。

## 平成27年度補正予算

### ◆一般会計補正予算（第6回）

天城湯ヶ島IC周辺整備計画策定業務委託料、マイナンバー導入に伴う情報セキュリティ対策としてネットワーク強じん化事業委託料及び対策工事、年金生活者等臨時給付金、広域観光地域づくり事業のため、美しい伊豆創造センター負担金などを増額する一方、決算見込みによる事業費の減額、歳入において財政調整基金繰入金金の減額など総額1億8千375万円を減額し、歳入・歳出予算額を168億9千350万円とするもの。

平成27年度一般会計の総額は、**168億9,350万円**となりました。

## 条例

### ◆市職員の派遣に伴う地域手当の支給に関する条例の制定

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に職員を派遣することに伴い、地域手当を支給するための条例を定めるもの。

### ◆特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

期末手当の支給率を0.1%引き上げるもの。また、伊豆市特別職報酬審議会の答申を受け、市長及び副市長の給料額をそれぞれ1万円減額し、77万円と65万円に、教育長の給料額を57万円に定めるもの。

### ◆修善寺駅北駐車場条例の一部改正

駐車場の利用について、無料時間の延長など利用者の利便性を考慮した減免措置を講ずるため、改正を行うもの。

### ◆ふるさと伊豆市寄附条例の一部改正

ふるさと納税の事業区分に東京オリンピック・パラリンピックを支援する事業を加えるもの。

## その他

### ◆第2次伊豆市総合計画基本構想の策定

合併から12年が経過し、急速に進む少子高齢化・人口減少社会への対応や厳しい財政状況、地方分権の進展により、自治体の自由度と責任が拡大しています。このようなかで、持続可能な行政運営を進めていくために、これまでのような総花的な計画ではなく、重点的に取り組むべき施策を明らかにした選択と集中による戦略的な実効性のある計画を、市民の皆様のご意見を踏まえながら取りまとめました。この計画について総合計画審議会より妥当であるとの答申をいただいたことから、基本構想について、議会の議決をお願いするもの。

### めざすまちのテーマ

自然・歴史・文化が薫る  
誇りと活力に満ちた  
クロスロード  
「伊豆半島の新基軸」・伊豆市

～いつまでも住み続けたい  
次世代に笑顔をつなぐ  
礎づくり～

# 議案

## チェック

委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

### 第1委員会

#### ◆平成27年度一般会計補正予算

(第6回)

**問** 13市町で行う美しい伊豆創造センター広域事業負担金1千300万円ですが、全体ではどのくらいの予算規模で事業を行うのか。

**答** 各市町から基礎として1千万円ずつ負担し、全体で1億3千万円の事業予算となります。また、それとは別に伊豆市は300万円、沼津市は2千万円、伊豆の国市は400万円、函南町は300万円を負担し、4市町で自転車を生かした広域の取り組みをしようという事業があります。



**問** 天城湯ヶ島IC周辺整備計画策定業務委託料2千600万円は、どのような委託を行おうとしているのか。

**答** 平成30年度末に月ヶ瀬地区にできるインターをどのように利用するかということで、天城地区での地方創生ワークショップや協議会での「道の駅として活用してほしい」、さらには「観光客だけでなく地元が活用できる場として検討してほしい」という意見を踏まえて、インター周辺を上手に活用していくための基本的な計画を作成する委託業務です。

#### ◆平成28年度一般会計予算

**問** 都市計画の見直しで、旧修善寺町の都市計画の線引きを廃止するということですが、固定資産税への影響はどうなるのか。

**答** 線引き廃止後の固定資産税について、先進地を視察して話を聞くと、市街化区域農地は宅地並み課税が外れ、市街化調整区域の農地と同じような形で税額が下がるだろうと言われています。その他の地目については、大きく変わることはないだろうということです。

**問** 農業振興対策事業費の県営事業負担金の内陸フロンティア事業は、伊豆市にどのような恩恵をこうむっているのか。

**答** 天城北道路大平IC周辺を天城北道路関連のトンネルで発生した土を利用して埋め立て、換地をして農業生産法人等への農地の集約化を進め、農業振興を図るとともに、非農業地を創設し、中間土場を整備して林業振興を図るための事業で、平成29年度完成を目指して進められています。

**問** 今の支所を東京ラスクに貸して、旧湯ヶ島小へ移転するための設計委託料4千600万円、事業費に3億円を使っても、にぎわいの方が大切なのか。

**答** この事業は、支所を移転するだけでなく、旧湯ヶ島小をどうやって地元の皆様に使っていたかどうかということ、支所の移転以外に地域づくり協議会の拠点、井上靖先生の資料展示、静大等の研究室等としても使っていたかどうか、小学校全体を地域の拠点として位置づけるために整備するものです。



▲旧湯ヶ島小学校

**問** 広報事業のF M I Sへの委託費の総額はいくらか。また、広報企画アドバイザーの報酬とあるが、どのような勤務内容か。

**答** F M I Sへの委託費の総額は、情報発信委託料2千596万2千円が全てです。また、広報アドバイザーの勤務は非常勤で、会議などのときをお願いする予定です。

**問** 静岡県土地開発公社に借金をしてもらって文教ガーデンシティの用地を買収するのか。

**答** 今の構想エリアでは、地権者の数が相当多く、どこまでまとめるかの期間と年度の問題もあるため、まずは一時取得を公社にお願いします。伊豆市は平成31年度ま

での合併特例債期間に土地を買い戻し、補助金で使えるものは補助金、残りは合併特例債を財源に充てるという事業スキームがあります。

◆伊豆市職員の派遣に伴う地域手当の支給に関する条例の制定

問 この条例による地域手当の支給条件は。また、他の職員との公平性はいかがか。

答 今回はオリンピックックという特殊事情で東京に研修派遣するため、その地域の民間の賃金水準に合わせて地域手当を支給するもので、国も支給しています。また、他の職員との関係ですが、現在、内閣府に派遣している職員についても、身分を国家公務員に変え、国の制度において地域手当が支給されています。当然そのバランスを考え、て今回支給するものです。

◆伊豆市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

問 職員の給与は経済状態だと言って上げ、市長・副市長は下げ、教育長は現行通りというのはなぜか。

答 新たに特別職として就任する

教育長の給料を定めることに合わせて、平成16年4月から改正されていない市長、副市長の給料の妥当性についての諮問を受け、特別職の報酬審議会が開催されました。その結果、市長、副市長については、過去の一般職員給料の減額を勘案して、それぞれ1万円の減額。教育長については、制度の改正により教育委員長と教育長が一本化されるということを勘案して、現行どおりという答申となったため、それを受けての改定ということになります。

◆第2次伊豆市総合計画基本構想の策定

問 基本構想にまちづくりの課題とあるが、この課題をどうするのかあまり出てこないと思われるがどうか。

答 現状の課題を整理して、それに対応する将来像として、基本構想の目指すまちのイメージや第2章のまちづくりの重点目標で、現状をふまえてどういうまちにしていきたいかを、それぞれの項目に分けて説明しています。また、この基本構想をもとに総合計画がある

り、それぞれ指標を立てています。その指標は総合戦略とともに達成度のチェックをして計画に書いてあることを進めたいと考えています。

第2委員会

◆平成27年度一般会計補正予算

(第6回)

問 保健衛生費の子育てモバイルサービスとはどのような事業か。

答 子育てに役立つ情報を携帯電話やスマートフォンへ配信する事業です。子供の生年月日を登録することにより予防接種のスケジュール管理をすることができます。また、子育ての最新情報や医療機関情報、子育て助成制度や若い世代への婦人科検診情報なども配信する予定です。

◆平成28年度一般会計予算

問 個人番号制度事業における特定財源は、全額、国の負担なのか。

答 国庫補助金は、事業費補助金と事務費補助金の2種類があります。地方公共団体情報システム機構への負担金については全額補助

ですが、臨時職員等に係る事務費分は算定基準が厳しく、27年度においても確定していない状況です。

問 在宅医療連携拠点事業委託料について詳細な説明を。

答 病気を持ちながらも在宅で安心して安定した生活ができるよう新規に始める事業です。主な内容は、拠点となる医療機関の医師による定期的な訪問診療や、病状が急変した場合、一時的にその医療機関に入院できることなどが挙げられます。また、訪問診療により重症化予防、異常の早期発見、家族の療養相談なども可能になります。

28年度は、医師による訪問診療の必要な方、約40人を算定の基礎としています。

問 中学校再編事業実施設計業務委託の流れについて説明を。

答 27年度末までに基本設計が完了するので、その内容を精査しながら、28年度は6月から7月頃、実施設計の業者選定を行います。業者選定の方法については、現在確定していません。

## 討 論

### ◆平成28年度一般会計予算

#### 反対討論

(森 良雄議員)

総額165億9千万円になる大型予算です。債務負担行為では土地開発公社15億3千800万円、文教ガーデンシティ用地取得19億9000万円、土地取得業務2千260万円、これらは市民に対する十分な説明がされていません。

その一方で歳入では前年度に比べ市民税、法人税、固定資産税、ゴルフ場利用税などの減額がある。食肉加工センターは1千万円を越える大幅な赤字を示しているながら、市長の海外旅行はタイ、シンガポール、リオが予定されている。

総合計画・戦略推進事業では1千万円を計上しているが人口減少を止めるという目的もなく戦略なき予算です。

#### 賛成討論

(山田 元康議員)

伊豆市の最も重要となる5年間

の基礎固めのための予算になることが、市長の行政報告、執行部からの説明で読み取ることができません。コンパクトタウン&ネットワーク構想の一環として実施する文教ガーデンシティ事業のための土地取得や造成設計等に係る委託料や、光ファイバ網整備補助金、土肥地区の小中一貫校整備事業、ジオパーク中央拠点施設整備として実施する修善寺総合会館駐車場整備事業、東京オリンピック・パラリンピック事業などは、時代に即した事業と判断できます。

#### 反対討論

(西島 信也議員)

本予算案中に、文教ガーデンシティ構想があり、これは、日向・加殿地区12ヘクタールに新中学校、こども園、住宅地、公園などを事業費90億円で整備すると当局は、説明している。

新中学校は、2020年に開校するとしているが、学校再編について小中一貫校の問題や統合先は修善寺中では不都合かなどの議論は、全くされていない。

90億円の事業費のうち市民負担

は40億円以上、1世帯あたり30万円と推計されるが、このような予算は、伊豆市の財政を破綻させる。

#### 賛成討論

(室野 英子議員)

来年度の主要な大型事業は、①土肥小中一貫校整備、②伊豆半島ジオパーク中心拠点修善寺総合会館の駐車場整備、③文教ガーデンシティ計画に基づく土地取得等、④オリンピック事前合宿誘致に向け天城ふるさと広場野球場改修、⑤オリンピック自転車競技会場への市道改修や市民への啓発等が並びます。

一方、ふるさと納税促進や子育て支援をはじめ市民への福祉にも配慮された編成であり、歳入減少の中で苦勞も認められます。審議の上、市の将来に希望を託する予算であると認め、賛成します。

#### 反対討論

(木村 建一議員)

政策決定過程を市民に公表するという『住民主権』ではありませぬ。新中学校建設では、新たに教科教室を創るといふ、生徒の人格

形成への教育的検証をしましたか。保護者と意見交換はどうですか。湯ヶ島支所移転で決定的に欠けているのは、なぜ支所を移転するかです。市長は「工場を拡大したいという要望があり、待たせている」との答弁ですが、一企業のために移転先である旧湯ヶ島小に3億円ですか。営林署跡地も含めた地域づくりを考えるべきです。

#### 賛成討論

(青木 靖議員)

地方交付税が減少する中、有利な合併特例債が使えるのは平成31年度まで。この期間にしかできない事業を完成させる為の予算。

少子高齢化・人口減少など様々な問題はあるが、伊豆縦貫道の工事は進み、オリンピック開催も決定。この好機をとらえ、コンパクトタウン&ネットワーク構想、交通環境の整備、医療・福祉の充実、産業力の強化、子育て支援、よりよい教育環境づくりなど、子供からお年寄りまで誰でも安心して生きいきと豊かに暮らせるまちづくりを、慎重かつ丁寧に進めてほしい。

平成 28 年第 1 回 (3 月) 定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	室野英子	森良雄	飯田正志	木村建一
<b>人事</b>																
伊豆市財産区管理委員の選任について (7財産区を一括採決)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
<b>予算関係</b>																
平成 27 年度伊豆市一般会計補正予算 (第 6 回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成 28 年度伊豆市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
平成 28 年度伊豆市公共用地取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
平成 28 年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 28 年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 28 年度伊豆市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 28 年度伊豆市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成 28 年度伊豆市温泉事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成 28 年度伊豆市財産区特別会計予算 (7財産区を一括採決)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
<b>条例</b>																
伊豆市職員の派遣に伴う地域手当の支給に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
伊豆市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
伊豆市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
ふるさと伊豆市寄附条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
伊豆市立地域集会所施設条例及び伊豆市公民館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
伊豆市修善寺駅北駐車場条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
伊豆市立学校設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
<b>その他</b>																
第 2 次伊豆市総合計画基本構想の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×
伊豆市土肥地区過疎地域自立促進計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
<b>発議</b>																
伊豆市議会基本条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
<b>請願</b>																
文教ガーデンスィティ構想に関する請願書 (請願項目 2)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
文教ガーデンスィティ構想に関する請願書 (請願項目 1)	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○

※1 ○ 賛成 × 反対 ※2 議長(杉山誠)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

専決処分の報告及びその承認について (伊豆市税条例等の一部改正)	伊豆市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
平成 27 年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 回)	伊豆市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について
平成 27 年度伊豆市介護保険特別会計補正予算 (第 3 回)	伊豆市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
平成 27 年度伊豆市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 1 回)	伊豆市税条例の一部改正について
平成 27 年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算 (第 1 回)	伊豆市清掃センター条例の一部を改正する等の条例の制定について
平成 28 年度伊豆市簡易水道事業特別会計予算	伊豆市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正について
平成 28 年度伊豆市下水道事業特別会計予算	伊豆市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について
平成 28 年度伊豆市農業集落排水事業特別会計予算	伊豆市伊豆の国市外 1 組合公平委員会委員の選任について
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	公の施設の指定管理者の指定について (加殿コミュニティ防災センター)
伊豆市行政不服審査法施行条例の制定について	公の施設の指定管理者の指定について (地域集会所施設)
伊豆市情報公開条例等の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について (シニアプラザ)
伊豆市職員の給与に関する条例の一部改正について	公の施設の指定管理者の指定について (牧之郷公民館)
伊豆市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の全部改正について	伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について
伊豆市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	伊豆市議会会議規則の一部改正について
伊豆市職員定数条例及び伊豆市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	精神障害者の交通運賃割引に関する意見書



# 市政を問う

## ～一般質問～

9人の議員により27件の質問がありました。そのうち、それぞれ1件についてお知らせします。(要約・質問順)

### 質問

## 安心安全のまちには 防犯カメラ



(森 良雄議員)

伊豆市には市の設置した防犯カメラは4台です。ほかにイノシシ用が1台です。

防犯カメラは交通事故  
故や犯罪の捜査には、

効果が大きいです。犯罪捜査には必需品です。犯罪の抑止効果も大きいです。伊豆市の安心安全の効果を高めるためにも積極的な防犯カメラの設置を考えませんか。

### 市長 市答

## 市民が力を合わせて 犯罪防止を高めたい

防犯カメラについては、伊豆市では、市民が力を合わせて、子どもを見守ったり、あるいは必要な場所には適切に、防犯灯を設置するなど、市民の力を合わせて、犯罪防止力を高めることが、伊豆市のまちの形に合っていると考えています。

### 質問

## オリンピックの市政 における位置付



(三田 忠男議員)

オリンピックのため  
の道路網の整備、国際  
化、共生文化の醸成、  
宿泊施設の充実、スポ  
ーツ振興と健康増進等  
整備すべき課題と新しい伊豆市づくりへの効果等考えますが、予算配分の選択と集中について伺い、民生予算の確保について見解を求めます。

### 市長 市答

## 開催は将来に向けて 絶好の中間目標です

道路網の整備は、「美しい伊豆創造センター」で伊豆半島全体の道路整備のあり方について検討します。宿泊施設の確保、その他多言語化、Wi-Fi等環境整備についても伊豆半島全体で取り組む必要があります。

### 市長 市答

小・中学生の国際化・共生文化の醸成については、オリンピックの歴史・意義や国際親善・国際平和に果たす役割を学ぶことができるよう努めます。

### 総務部長 市答

予算の確保については、ふるさと納税の活用も合わせ、教育や子育て関連の予算に影響が出ないよう最大限の努力をします。



質問  
文教ガーデンシティ  
構想は、住民本位？



(木村 建一議員)

文教ガーデンシティ構想は、「伊豆市の命運を握る」と位置づけているにもかかわらず、市民への説明会は3回で終了ですか。そして、唐突に1月28日に第1回推進協議会の開催です。

市民からの意見は市民には直接返さず、市長、教育長が選んだ協議会の委員でという手法ですか。

長弁  
市答  
市民の長年の要望と思い  
最も望ましい判断

まずは急速に進んでいる少子化の中、「子供の声が聞こえる元気なまちをつくってほしい」、「都市計画を見直してほしい」という地域の皆さんからいただいた様々な意見を解こうとしたタイミングで教育委員会より中学校の統合の計画が上がったわけです。

時を同じく合併特例債が5年伸びたという複雑な色々な要素の中で、地域住民の皆さん、あるいは伊豆市の主権者である市民の皆さんの長年のご要望を解いた時に、この事業が適切であると、最も望ましいという判断を致しました。

質問  
新中学校建設の是非



(西島 信也議員)

文教ガーデンシティは、総額90億円をかけ、修善寺中、天城中、伊豆中を統合して、新中学校を建設するという計画だが、現修善寺

中の校地・校舎では狭いというのか。修中の校舎は、普通・特別合わせて39もの教室がある4階建ての大きな学校だが、教室数がいくつあれば教育ができると考えているのか。

長弁  
教育  
市答  
確かな学力、豊かな  
人間関係づくり教育を

現在、学校教育、学校現場は多様化して、少人数や個別に利用できる教室の必要性や、生徒が自由に学ぶ場所も必要となっております。

再編する3つの中学校の重点は、豊かな人間関係づくりとし、その基礎となるホームルーム、また、確かな学力を身につけるには、教科専用の教室を整備し、効果的な授業が可能となる「教科センター方式」を目指しているところ。基本的には、41教室と多用できるスペースが幾つか必要と考えています。

質問  
ひとり暮らし・高齢者  
などの見守り事業



(小長谷 順一議員)

人口高齢化が急速に進む中で、社会から孤立しているひとり暮らしの高齢者が増え、社会問題となっています。本市においても高齢化率が高くなっている現状を踏まえ、行政と地域が協働でひとり暮らしの方や高齢者の安否の確認、話し合いの機会を増やすなど、安心して日常生活を営むことができるような地域づくりの取り組みについて伺います。

長弁  
市答  
特定場所での定期的  
診療事業を

現在、ひとり暮らしのお年寄りに対するケアは、新聞配達やコンビニの宅配サービスの事業者などいろいろな方々から、見守りのご協力をいただいているところです。

新年度から、在宅診療を考えた準備作業を進めていたところ、ある院長先生から、場所を特定して、曜日指定で診療できる診療所機能が必要であると言われ、今、その機能を確認中です。総合的、包括的なお年寄りに対するケアというものを創造していきたいと考えています。

## 質問

東京五輪、交通渋滞・  
外国人・観光客誘導対策は



(山下 尚之議員)

最大級の「おもてなし」を達成するため、特に、交通渋滞緩和、外国人への通訳・宿泊・食事・標識看板等、ビジネスチャンスでの伊豆市への観光客誘導、選手団受け入れ・キャンプ地誘致活動等様々な課題・難問に対して、伊豆市の取り組む具体的対策は何で、長期的に世界的に伊豆半島が観光メッカとなる取り組みは。

市長  
市答

全市をあげて  
早急に取り組みます

今年1月6日に市長を本部長とする伊豆市東京オリンピック推進本部を設置し、これに合わせ同推進準備室を設け4人体制で取り組みと共に、オリンピック組織委員会へ職員1人を派遣します。

もろもろの課題が山積していますが、そういったものを4月以降に、全市を挙げて早急に取り組む体制を築きたいと考えています。

## 質問

平成28年度の市役所  
職員に向けた研修計画



(大川 明芳議員)

昨年9月議会では、私をはじめ他の議員からも、市民から信頼される市役所を目指し、市民との接遇やスピード感あふれる業務の遂行、また行政職としての専門性を含めた質の高さなど、研修に力を入れたらどうかと質問いたしました。そこで、28年度を迎えるに当たっては、どのような内容の職員研修計画を考えているのか伺います。

市長  
市答

抜本的な職員研修  
を考えます

私の防衛省での教育キャリアは、軍事教練だけでなく、英語に集中した教育やお茶・お花まで教育を受けました。

他方、市の職員はスキルレベルを上げて、キャリアアップしていくというプログラムが殆どありません。

したがって、来年度中にも新たな抜本的な職員研修のあり方を考えていきます。

## 質問

文教ガーデンシティ  
構想について



(永岡 康司議員)

伊豆市では、駅周辺整備事業として、構想の基本となる「文教ガーデンシティ」を計画しています。中学校の再編とこども園・公園の他、住宅地の整備を行うものですが、新中学校は、統合ではなく小中一貫とグランドは校舎と一体とするべきと思います。この構想に、住宅地の整備は必要がないと思いますが、考えを伺います。

市長  
教育答

学校再編はよい学習  
環境を整えることです

修善寺、中伊豆、天城の3校は1校とし、より良い学習環境を整え、課題の解消に向け、第2次再編計画のもとで進めます。施設一体型の小中一貫校ではなくとも教育活動を展開することは可能です。体育の授業は、メイングラウンドで対応できると考えます。第2グラウンドには管理人を配置することで、支障はないと考えます。

市長  
総合策答

公園に隣接した住宅地を配置することで、学びと子育てに最適な生活空間を構築し、住む場所としてのブランディングを推進していきたいと考えています。

質問

今後10年の地域づくり



(青木 靖議員)

①都市計画マスタープランや人口ビジョン、総合戦略に基づいた、具体的な地域別のアクションプランの策定はどのように進めますか。  
 ②小学校単位の地域づくりで、地域づくり協議会の役割をどう位置づけますか。  
 ③市役所がやるべきことと、地域でやらなければならないことを、議論する場を設けませんか。

長井 地域づくりの基本的な考え方  
市答

③産業振興や福祉といった包括的な組織をつくり、そこで話し合って、それぞれの地域づくり協議会で実行していくという形を考えています。

策弁 ①地域の将来像や特性に応じたプロジェクトをアクションプランとして発表します。来年度以降は、具体的な施策や事業として生かすため、話し合いや実践を重ねながら、具体化や改善を実施していきます。

②地域の中心的な活動を担う組織として、地域の団体等との協力により地域づくりを推進する役割を担っていくと考えます。

請願

文教ガーデンシティ構想に関する請願

第2委員会

〔請願内容〕

①文教ガーデンシティ構想、特に新中学校建設問題については、小中一貫校の是非も含めて、市民や学校関係者に情報を開示すると共に意見を積極的に吸い上げ、検討していただきたい。  
 そして大方の市民の合意を得た後に、市民の利益になるような事業の取り組みをお願いしたい。

〔質疑〕

問 学校関係者とは具体的にどのような方か。また、今よりも多くの情報を開示して欲しいという理解でよいか。

答 学校関係者とは、伊豆市の小中学校の現役先生や退職した先生方のことです。また、情報開示は、区や町内会ごとに説明会を開催するくらい回数を増やしていただきたいということです。

問 「大方の市民の合意を得る」ということは、どのようなことを想定しているのか。

答 5割以上の市民の合意ということになります。住民投票に値するくらいの賛否を問うていただきたいということですが。

〔採決〕

請願内容のうち「文教ガーデンシティ構想、特に新中学校建設問題については、小中一貫校の是非も含めて、市民や学校関係者に情報を開示すると共に意見を積極的に吸い上げ、検討して

いただきたい。」の部分のみ「一部採択」と決定しました。

第1委員会

〔請願内容〕

②市当局は、文教ガーデンシティ構想の全体事業費を約90億円としているが、これは人口が減少していく中、膨大な借金を伊豆市民に残していくことになる。

それだけの費用が市民の負担になるのか、それによってどのような効果が伊豆市にもたらされるのか、財政シミュレーションを示していただき又、この事業により伊豆市がどのように変わっていくのか、市民に分かりやすく説明いただきたい。

〔質疑〕

問 この請願は、できれば財政シミュレーションなどの資料を添えて、もっと市民に分かりやすく説明してほしいという趣旨か。

答 90億円という膨大な事業費が市民一人一人に及ぼす影響を心配しており、市の負担がどのようになるのかを示していただきたいということです。

〔採決〕

「採択すべきもの」と決定しました。

本会議（最終日）

両委員会委員長の審査報告のとおり、①については「一部採択」、②については「採択」とすることに決定しました。

## 「伊豆市議会基本条例」及び 「伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例」を制定しました

伊豆市では、少子高齢化や観光振興対策等抱える課題が山積する中で、議員数の削減と合併による市域の広域化により、「議員の顔が見えにくい、市民の声が市政に届きにくくなっている」などの議会に対する不満の声があるなどの問題がでてきていました。

議会は、その役割として、行政を監視するとともに、市民の代表として、市民の皆様の声を聞き、市民とともにまちづくりを進めていく必要があります。そこで、伊豆市議会は大きく変わることを目指していきます。

私たち議会は、平成 26 年 12 月定例会で議会改革特別委員会を設置し、①議会機能の強化、②情報公開、③住民参加を柱に計 27 回の委員会を開催するとともに、研修会に参加し、調査・検討を重ねてきました。

その結果、議会の基本的な理念や方針などを定め、市民とともに豊かなまちづくりを進めていくことを目的とした、伊豆市議会の最高規範となる「伊豆市議会基本条例」と、広報広聴活動及び調査研究活動を活性化させ、議員の資質向上と政策立案能力や政策提言能力の向上を図るための「伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例」を平成 28 年 3 月定例会において制定しました。

※条例は、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

### ◆伊豆市議会基本条例◆

<b>第 1 章 総則</b>
第 1 条 (目的)、第 2 条 (定義)、第 3 条 (最高規範性)
<b>第 2 章 議会及び議員の活動原則と政治倫理</b>
第 4 条 (議会の活動原則)、第 5 条 (委員会の活動)、第 6 条 (議員の活動原則)、第 7 条 (議員研修及び調査研究)、第 8 条 (政治倫理)、第 9 条 (会派)
<b>第 3 章 市民と議会の関係</b>
第 10 条 (議会報告会)、第 11 条 (会議の公開等)、第 12 条 (議会広報の充実)、第 13 条 (市民参加、市民等との連携)
<b>第 4 章 市長等と議会の関係</b>
第 14 条 (市長等との関係)、第 15 条 (反問権)、第 16 条 (予算決算審議)、第 17 条 (監視機能の充実及び強化)
<b>第 5 章 討論の拡大</b>
第 18 条 (論点整理)、第 19 条 (政策討論)、第 20 条 (議員間討議)
<b>第 6 章 適正な議会機能</b>
第 21 条 (議員定数)、第 22 条 (議員報酬)、第 23 条 (議会の機能強化)、第 24 条 (議会事務局の機能強化)、第 25 条 (政務活動費)
<b>第 7 章 議会運営の見直し手続</b>
第 26 条 (議会改革の推進)、第 27 条 (見直し手続)

### ◆伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例◆

政務活動費とは、地方自治法第 100 条第 14 項から 16 項に基づき、議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部を交付する制度です。

伊豆市議会では、会派及び会派に所属しない議員に対し、1 人当たり月額 1 万 5 千円を交付することとし、経費の範囲や用途については、透明性の確保に努め、1 万円以上の領収書などを公開し、説明責任を果たしてまいります。

# 平成27年度 会派の議員派遣報告

(フロンティア伊豆・市民第一クラブ・I・Z・U 未来)

〔平成28年1月25日〜27日〕

## 山口県防府市

### 【目的】

土砂災害対策と市民への周知

### 【研修内容】

平成21年7月の豪雨では、日降水量275ミリと激しい雨が続き、死者19人という被害をもたらした。どの時点で避難勧告の判断をするのか、市内の情報集約が重要である。

この災害後、新たに避難勧告マニュアルの見直し・「ハザードマップ」の全戸配布・災害対策本部の改編・土砂災害警戒区域内の要援護者施設への早期伝達・防災ファイルの全戸配布・防災ラジオの配布・防災出前授業などに取り組んだ。

## 夢のみずうみ村 防府デイサービスセンター

### 【目的】

夢のみずうみ村のリハビリ理念・特徴・通所者の一日を視察

### 【研修内容】

「人生の現役養成道場」として、在宅生活を継続していききたい、人生現役で過ごしていきたいと思っっている方に様々な仕掛けを備え、過度の介護による状態の悪化を防ぎ、リハビリを楽しむ工夫がされていた。

特徴として、バリアを意図的に配置した「バリアアリー」施設です。その日の自分の過ごし方を多種多様なメニューの中から自分で決める、「自己選択・自己決定」をします。また、村内通貨「ユーメ」があり、各リハビリプログラムに参加する時はユーメを支払い、見学者の案

内やカジノでユーメを稼ぐことができます。



▲夢のみずうみ村

## 山口県萩市

### 【目的】

「萩しーまーと」の取組み

### 【研修内容】

「萩しーまーと」は、山口県の萩地域水産物中核的流通基地整備計画としてスタートした。山口はぎ漁業協同組合を設立し、国や県の補助を受けて市場整備及び市場統合を図り、地元消費者をターゲットに地元価格で販売する漁港直結の「道の駅」として平成13年4月に開駅した。年間集客数は約140万人、販

売額は約10億円で地元雇用は約100名と、経営は順調である。また、年間マスコミ登場回数は120件を超え、全国「道の駅」利用者数でもトップ5を誇っている。

その他、萩の魚ブランド化推進事業では、「萩の背つきあじ」「萩のあまだい」「萩のけんさきいか」「萩の真ふぐ」「萩の金太郎」などをブランド化し、首都圏を中心とした販路拡大に取り組んでいる。



▲「萩しーまーと」

## 伊豆市議会「議会報告会」

### ～みんなで語る会～ を開催します！

伊豆市議会では、「開かれた議会」「住民が参加する議会」を目指し、市民の皆様には議会活動や市政について報告するとともに、ご意見やご提言などを伺うため、議会報告会（みんなで語る会）を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日	場所
平成28年5月24日(火)	中伊豆ふれあいプラザ2階 多目的研修室
5月25日(水)	ふらっと月ヶ瀬「ブルムカフェ 会議室(旧月ヶ瀬小学校)」
5月26日(木)	土肥支所4階 第1・2集会室
5月27日(金)	生きいきプラザ1階 第1・2会議室

※開催時間は、全会場午後7時からです。

#### 報告・テーマ

### 1. 平成28年度 伊豆市一般会計予算について 2. ワークショップ

①建設・防災・環境 ②観光・産業 ③教育・福祉

#### 議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議事事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議事事務局0558-72-9906)

#### 6月定例会の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分～

6月10日(金) 市長所信表明

議案上程

15日(水) 議案質疑

21日(火) 一般質問

22日(水) 一般質問

29日(水) 委員長報告

質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

#### 6月定例会

#### 委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室

時間 午前9時30分～

6月16日(木) 第1委員会

17日(金) 第2委員会

#### 編集後記

伊豆市議会基本条例、伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例が、本議会で制定されました。

市民の思いを市政に反映し、市民に開かれた身近な議会を目指します。

多様な広報手段を活用し、市民等が議会と市政に関心を持つようになるとともに、市民の意見を反映した広報活動に努めます。

市議会には市民等に対し、積極的に情報発信を行ってまいります。

議会広報委員 三田忠男